

秋雨の9月12日土曜日、東洋英和女学院大学大学院の学位授与式が六本木校地で行われ、人間科学研究科1名、国際協力研究科2名、計3名の修了生に修士の学位が授与されました。

野田美由紀先生の聖書朗読・祈祷は、晴れてこの日を迎えた修了生を温かく見守るものでした。

藁谷友紀学長の式辞は、グローバル化が進む中での修士の学位取得は、スタートラインに立つ事を意味し、東洋英和女学院大学大学院で学んだ事を活かして欲しいとの励ましのお言葉を述べられました。

高橋貞二郎先生の「求めよ、さらば与えられん」という聖書の一節を引用され、東洋英和女学院大学大学院で学んだ事を「人に与える事」は、社会への貢献に繋がる「敬神奉仕」である事を述べられました。

修了生代表によるお礼のお言葉では、学業と仕事の両立の大変さを乗り越え、支えてくれた教職員、ご家族への感謝の気持ちを述べられ、学位を授与された事の喜びを噛みしめていました。

同窓会役員一同、東洋英和女学院の伝統と格式を感じた、素晴らしい一日となりました。

大学院同窓会